明治廿七年一月三十日印刷
明治廿七年二月二日發行

婦人衛生雜誌

第五拾壹號

私立大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第五拾壹號
目次

講演

◉亂排齒の講談　ドクトル　伊澤信平君

寄書

◉婦人須知（前号の續）
（產婦の病及其看護○撿温器の用法○健康人の体温○產褥熱及傳染幷消毒法○消毒方法○產褥熱

衛生叢談

◉住地と死亡◉不眠試驗◉兩親の年齡と小兒の健康◉索遜國小兒の死亡及原因◉印刷業と肺病◉東京府の結婚と離婚◉結婚媒妁の統計◉寒中轉地療養の適地◉トランブ及花合の注意◉坑中の瓦斯驅除法◉寢小便の實驗藥◉百歲以上の長壽者◉百七十歲の手習◉高砂の夫婦◉百歲老女◉齒科施療◉普通衛生法◉男女の腦貧◉口中の熱を去る法◉鼻血を止める法◉米人佛國を去る二千四百人◉英國の流行感冒◉英國のインフルエンザ病◉長崎のインフルエンザ病◉不正の痘漿◉產婆の數◉天然痘流行の兆あり其他數件◉諸會の景況◉廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第五拾號
目次

講演

◉一般療法　醫學士　三浦謹之助君

寄書

◉少年子弟の衛生に就て（承前）　醫學士　山根正次君

◉婦人須知（前號の續）　醫學士　古賀鶴所君
○體重秤量○小兒の成育○嬰兒の衣服○嬰兒の浴法

◉浴場行日誌（承前）　醫學博士　佐々木政吉君

衛生叢談

◉アイヌノ衣食住◉肺病は煙管より傳染す◉入毛の注意◉地下バリテリャの有無◉生きたる人の胃に穴を明けて消化作用を見る◉二疋の蜂に擬す◉世界の大男◉金人稱と銀人種　◉藥灰繃帶と消毒繃帶◉窒扶私新治療法◉咳の防き方◉藥とあるへき野菜◉衛生と經濟　◉新年賀詞◉稀有ある長壽者　◉百歲の壽筵　長壽六兄弟　◉長壽鄉　◉鶴壽會　◉佛國の長壽者◉諸會景況◉廣告數件

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衞生雜誌第五拾壹號
（明治二十七年二月二日發行）

講演

乱排歯の講話

（十二月二日於富士見倶樂部開婦人衞生會例會）

ドクトル　伊澤信平君演説

今日は、貴婦人方の御面前に於きまして、不束なる私に一座の講話を致します事の御許可を得ましたるは、私の身に一層の名譽を御添へくだされたるなれば、深く御禮申上げ置きます。

私の專門即ち齒醫者の業の事は、殘念ながら我國に於ては、未だ充分に人々の腦裡に這入ッて居らぬやうに思ひます。それ故御話し申したき事柄は澤山に御座りまして、何れを先きに御咄し致したら宜しいかと思ッて、今日まで演題未定と致して我ながら迷ッて居りました。恰も子供が御手遊屋に參りましたときの如く、題をとり定むるに甚だ迷ふて居りました然るに今日は御婦人方の會でございますから、兼ねて機會があらば御咄し致したいと思ふて居りました、只今亂排齒の事に就て御話しをいたさうと思ひます。

扨爰に、西施若くは小町の如き美婦人があつて、其容姿は優にやさしいけれども、其人の齒が甚だ不揃ひで、俗にいふ亂齒で、一寸と御笑ひになりますると、其御齒が出ますやうでは、余程御容姿は美くとも多少御綺料を損ずる事が有ろうと思ゐます。我國中古以來男子方は髭を御貯へになることは稀でありましたが、近來西洋人と交際が始まりましてよりは、又髭を貯ふる事が流行ッて來て、苟も紳士たる者は髯を貯へなければ物たらぬやうで、當今は殆んど髯の無い人は稀れになりました。此髭と云ふもの

は不揃なる齒を隱すには甚だ都合が宜しうございます。併しなから御婦人方は髭を以て齒並びの惡るのをかくす事は出來ない、ソレ故男子よりは一層御注意なさらなければならぬと思ひます。齒列の惡る人を見まするに、十中の七、八は乳齒の時分に御注意なされば防ぐ事が出きるのであります、故に人の母となるの義務ある御婦人方は、深く此點に御注意なされまして、御娘子樣方に他日不幸を御與へにならぬ樣、前以て御注意あらむ事を望みます。因て是れより其御心得となるべき點を御話し致しまする。

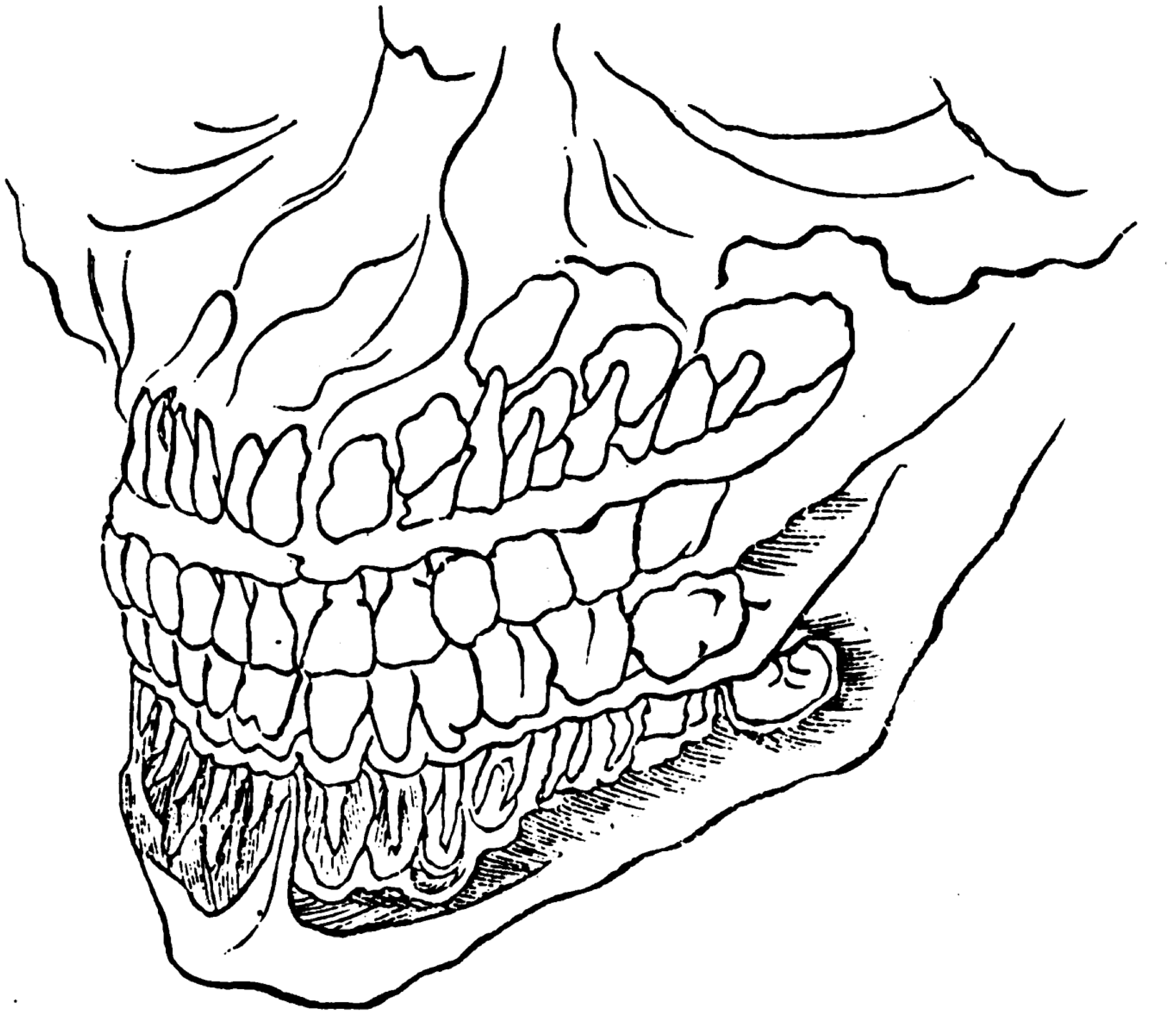
亂排齒となるべき原因に二種あります、一は先天性といつて、即ち親より讓られたる亂排齒で有ります。是は近頃齒科醫術の進歩に因て、いろ／＼の器械も出來ましたから、過半は矯正することが出來やうと思ふ。然れども其豫防法に至ッては、甚だ困難の事で有ります。ドウ云ふ豫防の方法であるかといふに、母方の家と父方の家とに於て、代々自身の齒牙の排列に注意して居らなければなりませぬ、たとへ御祖父さま御祖母さまの齒列が惡くなくとも、數代前より注意して居らなければ豫防することは出來ない。ソレ故先天性亂排齒の豫防法は事情的甚だ六ケ敷い事でございます。

第二の原因、後天性は生れて後に發する齒列の惡るいのでございます。是れは乳齒現存の時より御注意をなされば、亂排を防禦する事が出きます。デ私は昨年歸朝後數多の患者に出遇ッて實驗して見まするに、先づ日本には第二の原因、後天性に因て齒列の惡くなるもの丶方が多い樣に見受けます。ソレ故今日は後天性に屬する原因に向つて注意をすれば、御子樣方が成長の後亂排齒となるやうな不幸がなくなるといふ事に就て御話しを致さうと思ひます。

後天性の原因の中に於て、最も多く發しまするの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は、齒牙殊に乳齒を拔くに適當の時期を失ふ事で有ります。一体乳齒といふものは、拔け替る時機が極まつて居る、ソレを或は早く、或は遲く拔き取る時期をあやまると、亂排齒の原因となります。其拔くべき時期、拔くべからざる時期の事を申します。併しながら此事は今私の述ぶるまでもなく、私の父道碩が長年これを憂ふて居りまして、通俗齒の出齦圖解表といふものを作りました。本日當會へ寄附の爲め、三枚ばかり持つて參りましたから御覽を願ひます。此(右圖解表を示さる)表に示して有ります通り、齒の拔ける時と、永久齒の出る時は同じ時であります。言ひ換へて見れば、乳齒が拔けて仕舞ふ時期と、永久齒と申して、大人になつてから遣はれる所の齒の生ゐる時期とは、多少の相違は有りますが、大体の所は一定して居りまして、この齒は何ケ月に生える、これは何ケ月に出替るといふ大凡その極りが有つて、其法則に隨つて往くのであります。ソレ故若し拔ける時期に拔きませんで其儘にして置きますと、乳齒の根の爲めに、成人齒即ち永久齒が

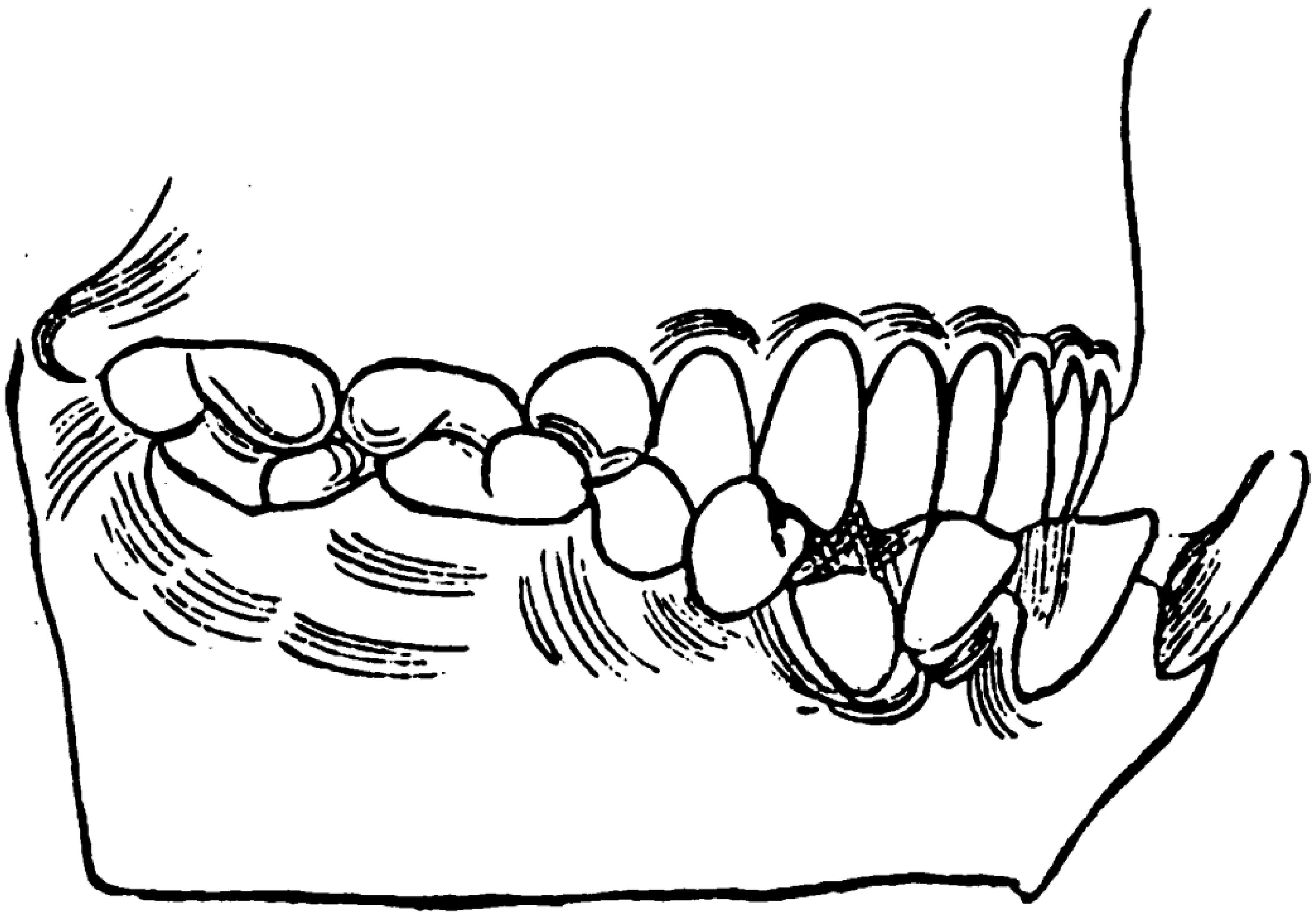


自儘に外に出て仕舞ひます。或は早く抜き過ぎますと、永久齒が自由の所に生えて參ります。圖（壁間に掲げられたる第一圖六年齒の圖解）に依て申しますれば、斯樣に黄にてしるしを附けて置きましたが、永久齒の成長するまでは、これで（乳齒の根）抑へて有るのを早く抜き過ぎると、くさびがなくなつて仕舞ふやうなもので有りまするから、成人齒が後ろの方に出て仕舞ひますので齒列が惡るくなります。つまり乳齒の根は成人齒を眞直の位置に出すやうに、其抑へとなつて居るので有りますから、ソレを早く抜ひて仕舞ひますれば、永久齒は自由自在に亂生致します。恰も子供を無教育なる野外に於て毫も顧みないと同じで有ります。乳齒をクサビと致して成人齒を眞直に出さうといふのでありますから、成人齒の成長するまでは乳齒を保つて置いて、愈々齒の出やうといふときに抜かなくては往けませぬ。此はれ（壁間の第一圖を指して）丁度六七歳の子供の齒と思へば宜しい、六七歳の小兒の乳齒と永久齒との關係を示したる圖で有ります。此圖の上下の齶の後部に向つて最後に生へました齒牙は、永久齒に屬して居りまして、第一大臼齒と稱します。是れは成人齒がのこりなく出齦しました後には犬齒より四番目にある齒で、是れは一番大きい齒で、且一番役に立つので有りまするから大切にしなければいけない。中心前齒は最早大抵發育して出齦やうとする所でございます。

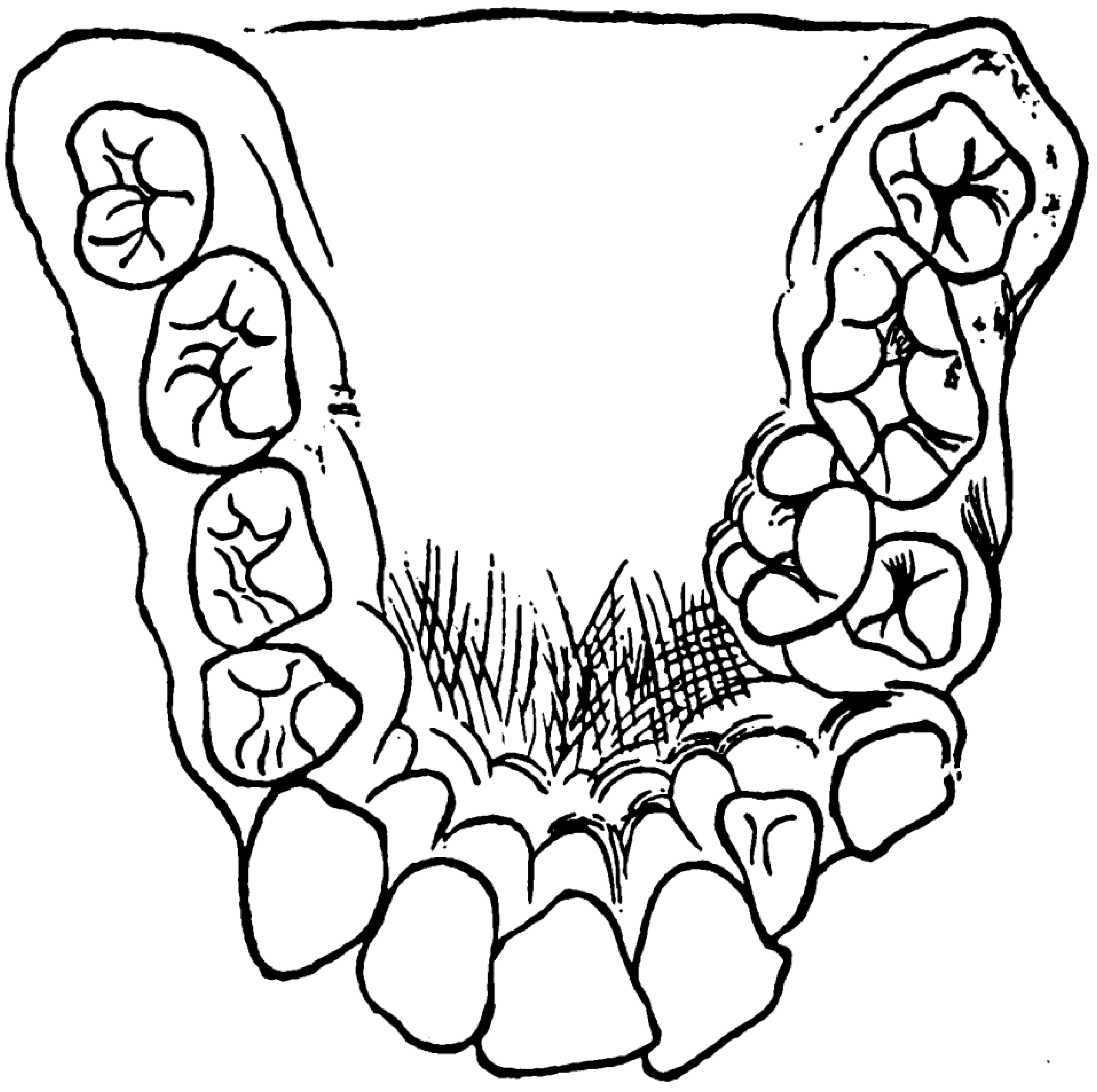
前申す通り成人齒はドウでもなるので、若し乳齒の根が早くなくなると、永久齒は外に出て後ろに引き込んで仕舞ふ、又出樣とする時に（漸々に御咄し致しますが）或る場合に因て出ることができないで、外へ出る樣な場合が起つて來る、ソレ故屢々申す通り乳齒と云ふものは充分に成人齒が發生して、齶に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愈々出やうといふ準備の整ふた時に拔くのが適當で有ります。又永く存し置と、矢張り前に申す如く、齒列を惡るくするやうな事が出きますから、乳齒を拔く適當の時期を知るのは余程肝要なる點で有ります。



是れより御話しを致しますのは、第一に時期に先ちて乳齒を拔くと、ソレより起る不都合の點を委しく御話しを爲ます御承知の如く小兒の齒即ち乳齒は小さく、成人齒は大きい。此小さき乳齒に代りて、大きな永久齒が生ゑまするにはドウしてもソコの場所が擴がらなければならぬ。サウして此處の場所を充たそうといふので有るから齗が乳齒の生ゑた時分よ



り多少大きくならなければならぬ譯て有ります。こゝに最も都合の宜しい事といふは、永久齒は外に出やう〳〵と思つて、漸々に自分の容積を大きくする、ソレと同時に乳齒が次第に壓迫れて往くので、一方は擴げやう、一方は擴けられまいといふので互に競爭を始めますが、遂に永久齒が勝を得て、ソコに出齦して參りますので、ソコに熱を發し、熱のために刺戟を起しますから血液の順環が盛になり、營養が進んで參りますので、齶の發育か增して參ります。斯くの如く乳齒と成人齒と双方相俟つて補助しなければ、其作用を完全ならしむる事は出來ない。其次第は圖にも示せる如く、乳齒は永久齒のクサビとなつて居る、即ち永久齒は乳齒と云ふクサビの間に挿まれて、骨を漸々に擴げて往くと云ふ樣な次第で有ります。サウして遂に永久齒が勝つて、乳齒の根は或る原因に因て吸收られて仕舞う、其後に永久齒が推して這入るので有る。通常サウ云ふ有樣で、乳齒は成人齒から比較すると、甚だ軟弱いもので有るから、永久齒のために乳齒は必ず吸收されて仕舞うかといふに、サウは往かない、時として吸收も仕ないで、乳齒の根がのこつて居ることがある、サウ云ふ塲合には永久齒の出る路が無いから、正路をはずして横或は後ろに出る、眞中の塲所を滿すべきか當前で有りますが、乳齒の根がのこつて居るために、横或は後ろに出て、遂に齒列を惡るく致します、只今申しました通り拔くべき時に拔かず、拔くべからざる時に無暗に拔くと、クサビを失ひ、乳齒と、永久齒との間に關係がなくなつて、永久齒は自由自在の所に出で、大變に亂れたる齒列になります。乳齒は弱く永久齒は強いもので有るから、暫時互に競爭の上永久齒が勝を制して適當の位置に出齦せるは天然の作用である、先づ大抵の御方はサウで有る。ソレ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

故世間に齒列の惡い人は、ドチラかと云へば少くない。併しながら乳齒が永久齒發生の邪間をするとが時々でございます、しかしソレは齒其ものが惡るいのでなくして、人間が乳齒を助けてやつて、其處に置くやうな塲合が有りは仕まいかと私は思ふ。其次第を御話しすれば、乳齒は一種の作用（此原因には二說ありて未だ何れとも決定致しませぬ併しソレは余り高尚過ぎて、齒科醫學上の事に屬しますから茲では申しませぬ）原因は何にしても、吸收されませぬのはドウ云ふ理由であるかと云ふに、乳齒といふものは、生活して居るものでなければ吸收さるゝことは出きない、御承知の通り生活して居る齒は、齒の中心に窩洞が有つて、其中に齒髓といふものが通つて居る。ソレは神經脈管ともいふべきもので、ソレがチャンと保存されて居る齒は、即ち生活して居るので有ります。然るに外國に於ても、此事に就ては喧ましく言ふて居るが……なかには、何乳齒といふものは、遲かれ早かれ拔けて仕まうもので、後から良い齒が出て來るので有るから、乳齒は別に大切にするには及ばないと云ふ事を申す人が有りますが。決してサウ云ふものでは有りませぬ。乳齒の拔け替る時期の來るまでは、大切に生活保存せしむるのは最も肝要の事で有る。併しながら小兒は丁寧に齒の掃除をすることなとば到底出來ない、掃除をした所が淡水で口嗽をする位ゐのことで、揚枝を遣う事も御母樣がたが傍らより御注意をなさらなければ遣う事は出來ない。ソレ故時として齒に穴が開く、是れが所謂齲齒でございます。此の齲齒と云ふものは幾ら齒質が腐蝕致しましても、其窩洞が齒髓に達しない中は、痛みを感じない、素人は痛みを感ずるまでは、齲齒と云ふことに氣が附かずに居つて、痛くなつてから始めて、これは齲齒でわつたかと云ふ

感念を抱いて治療にかゝりますが、斯なつてから生活して居る齒と同じ様に療治をする事は、現今の治療法では迚も六ケ敷い。少しでも齒が腐れ窩洞の出來ました時に、速に適當の材品を以て充塡致しますれば齒髓を助ける事も出來ます。然るに前に申す如く痛みを感じない中に治療に取りかゝりますものは、極めて少なう御座いますが、たとへ痛みはなくとも、窩洞が出來たと云ふ事に御心附きになりました時は、速かに治療をなされまして、腐蝕を防ぐ事に注意しなければなりませぬ。一体齒痛には種々の原因が有りますが、多くは此原因で有ります。前に申し述べました事は、永久齒出齦前に於て、乳齒を大切に保存しなければならぬと云ふ事の例證を擧けたのでございます。サウ云ふ様に齒髓が斷へず刺戟を受けますと、半分以上も機能が無くなつて仕舞ひます、殆ど死んだも同様になります。斯くの如く生活を失ひたる所の齒はドウしても吸收されない、永久齒がドンなに吸收しやうと思つても、根の方が依然として居りますから、無據永久齒は別路に出なければならない事になつて遂に齒列が惡るくなります。ソレ故永久齒が充分に發育して、是れから齦の外に出て、咀嚼の用を爲すに至るまでは、乳齒の根を能く生活せしめて置きませんと、亂排齒となるの恐れが有ります。乳齒の死んで居るものは容易に拔けませんで、遂に齒科醫にかゝつて拔かなければならぬやうになります。生活して居るものは、唯指で推したのみで容易く拔く事が出來るので有りますから、ソコの所を能く御注意なさらなければならぬ。前に委しく申し述べたる如く、永久齒の力より乳齒の力の方が強いので、ソコにのこつて居るのではない、全く人々の不注意から起つて來るので、元來は乳齒が弱く、永久齒が丈夫なのが天然の法則ではな

るのですから、此法則に違はざるやう御注意なさるのが肝要で有ります。是れまでの所が、永久齒が齶の外に出るまでの注意であります。

是れよりは成人齒即ち大人の齒が出ましてから、御注意の足らざるために齒列を惡るくする點を御話し致さうと思ふ。これにも原因はいろ〳〵有りますが例を擧げて見れば、拇指を嚼むとか脣を吸うとか、或は小兒が腕を嚼むとか舌を吸うとか或は人工哺乳器の吸首のゴムの硬きに拘はず御子樣方に牛乳を御上げ遊ばします時に、御注意なさらないと齒列を惡るく致します。其中最も多く有りますのは拇指を嚼む事で、屢々其例を見ます。殊に我國に於ては一の不思議なる言ひ傳へがありました。ドウ云ふ事であるかといふに、乳に乏しき小兒には自分の拇指を嚼ませ或は吸はせて置くと、指の先きより乳汁の如きものを分泌して、乳の不足を補ひ小兒を成長せしむることが出來ると言ひ傳へたさうでございますが、指を吸ふて乳を分泌すれば、甚だ調法であるがそんな事は出來さうもなく思はれる。又私の子供の時分にも「おしやぶり」と云ふ一の手遊が大へんに流行致しましたが、これは今でも見受けますから、定めて御承知と思ひますが、アレも時として拇指を嚼むと同じ樣に齒列を惡るくする原因となります。まだ幼きうちは兎も角漸々に習慣が積まして、六七歲に至つても指を嚼んで居るものが有りますが、ソレ等の結果は、(壁間の第二圖を指して)丁度斯ういふ風に、上の前齒が突き出て、下の方がさがる、是を俗に反齒と申します。是れは拇指の作用加減に因て多少亂排の結果に相違が有ります。甚だ失禮でありますが、其有樣を御覽に入れます(拇指を上齒の内面下齒の外面間に挿み嚼吸して其狀態を示さる)只今有樣を御覽に入れましたのは、即ち此第二圖の如き

齒列になつて仕舞ひます。又御子樣がたに由て上齒と下齒との截端部間に指を挿みまして、齒と直角に噛みます、今日は生憎圖を持ちませんが、臼齒を咀合せますと、前齒の上下が開いて咀嚼する事は出來ない樣な齒列になります。

次に唇を吸ひまして起る亂排の結果は斯う（第三鞍狀齒）いふやうな齒が出來る鞍狀の齒といふは恰も馬の脊の上に在る鞍のやうな位置になつて居るのであります（下唇を前齒の口蓋面下前齒の唇面に挿み、噛吸して其狀を示さる）斯ういふ風に口唇を吸ひまするると、自然頬の肉も共に吸ふやうになりますから頬に余程肉が有つてもこける樣に見えて誠に御人相に障つて來る。併し是れは注意を以て習慣を破れば、最愛なる御子樣方に醜き所の亂排齒を與えない樣になります。尚は此他にも腕を噛むとか舌を吸ふとか、或は人工哺乳器の乳首の硬きものを以て乳を御上げになると、大概前に申したる事と同樣なる結果を呈します。一寸考へると、硬き所の骨をば柔かき指或は口唇等にて其形狀を變化せしむるといふは、甚だ不思議の事で有ります、が、雨垂の落つる所に在る石は、自ら穴を生ずるが如く、習慣となれば斯ういふ結果の現はるゝも又珍らしからぬ事と思ひます。

又睡眠中に、口より呼吸を爲すと、息の爲めに齒が前の方に出て齒列を惡るくする原因となる事が有りますから、小兒の眠りて居るときは、口を閉ぢて成るべく鼻で息をするやうに御注意なされた方が宜しい。併し咽喉に御病氣か有る時は鼻で息をする事は六ケ敷い。通常の者は初めは少しく困難に感じましても常に御注意なされば、容易く出きるやうになります。此他にもいろ〳〵申上げたき事はありますが、余り長くなりまするし、且つ商賣上の者には

格別であるが、素人方に深い御話しを致しても、著しき御利益も無からうと思ひますから、是れ丈けに致して置きます。次に先天性原因の御話しを致すのでありますが、私は本會へ出席致しますのは初めてゝ演説の樣子も一向分りませず、且つ言葉も澁りまして甚だ御聽き苦しからうと思ひますから、今日はこれで御免を蒙りまして、他日再び本會へ出席になりました時に讓らうと思ひます。

寄書

◎婦人須知（前號の續）

醫學士　賀古鶴所君

產婦の病ひ及其看護

產婦若し發病せは速に良醫を撰ひて迎へ醫師の診問する所は悉く眞實に應答し都て醫師の言に從ひて充分に診察を遂けしめ固く其命を守り謹愼して療養すへし現時世に婦人病多きは概して產後に發せる者にして其初に於て少しく謹愼して加療すれは速に治すへき後來不幸を來すの因たるを知らさるより暫時の不便不自由に耐えずして醫師の命を守らす爲に慢性病を釀し畢生疾患に苦しめられ復た救治する能はさるのみならず終に生命を殞する者亦少からさるあり

醫師を迎ふるには宜く注意して學術共に錬達せる者を撰ふへし誤て庸醫を迎ふ勿れ世に危險の種類極て多しと雖身命を以て庸醫の手に委ぬるは蓋し其最ならん又翁媼が稱道する無稽の言に迷信し神佛に祈禱して偏に救助を請ふ者あれども抑も人の生存するは整然たる理由ありて生存し又病の發するは確乎たる原因ありて發生する者あり故に病を治せんと欲せは詳に其原因を採り而して之を絶にあらされ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寄書

は不可あり治法は決して自然の理外に存するものにあらす又一家秘傳の藥と唱へ藥品並に配劑の方用ゆる者あれども元來性質の不明なるものなれは或は如何なる危險あらんも圖り難し故に此等の賣藥は成るへく用いさるを可とす以上を略言すれば産婦一たひ病を發せは直に良醫を招き謹て其指揮に從ひ治療を加ふへし熱氣を帶へる病には殊にしかすへし

撿温器の用法

産婦若し病を發せは假令熱氣を帶ひさる者と雖も必す撿温器を用い日々體温を撿すへし斯の如くすれは若し熱氣を生せは直ちに之を詳知するの利あり産婦若し攝氏三十八度五分以上の體温を生せは正に疾病を發する前徴と認めて可なり

健康人の體温

通常攝氏三十六度五分乃至三十七度五分なれども小兒老人に於ても少しく之れより高きを常とす而して

一日の中に於ても少しく升降ある者にして午後五時に於ては午前二時よりは半度程高し熱性患者に於ても亦之れと均しく熱氣の最も高きは午後低きは朝間なり故に體温を撿するには午前八時午後五時の兩回に於てすへし但し其高下甚しき者に於ては屢々撿するを可とす此の如く日々時を定めて撿温するときは大に病勢の增減及ひ狀態を知るに便あれとも時々中絶する如きとあらば啻に利なきのみならす動もすれは錯誤を生するを以て却て害あり撿温器にはフアーレンハイト氏レヲミユール氏セルジユース氏の三種あれとも通常體温を撿するにはセルジユース氏即ち攝氏撿温器を用ゆ此撿温器は氷點と沸騰點の間を百度に區分し而して又其一度を十分若くは五分に細分したる者あり即ち之を用いて體温を撿するには其水銀を充てたる部を病婦の腋下にさしはさみ而して上膊を脇部に接着せしめ以て密に腋窩を閉さし腋窩の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

温をして少しも放散せさらしめ此の如くして十五分時を經て水銀何度迄升れるやを撿すへし但し此際撿者は己れの眼を撿温器に接すへし決して撿温器を腋下より取り去る可らす何となれは撿温器は病體を離れて空氣に接すれは忽ち冷却して水銀下行し眞正の熱度を撿する能はされはなり但マキシマール撿温器に在ては病體より取り離して撿するも妨けなし撿温器は用後毎次淸淨に拭ひ乾し置くへし

●產褥熱及傳染並消毒法

產婦若し他に疾患を帶ひすして體温三十八度五分以上に升りて數日降らす若しくは甚しく惡寒戰栗を發し發汗を兼ね體温忽ち攝氏四十度に升り下腹部發痛し惡露閉歇し若くは臭氣を放ち腹部膨滿せは之れ即ち產褥熱の初徵なり速に醫師の不注意より釀生すと雖又稀には惡露停滯し之を吸收するより發生する事ありて而して其傳染するや空氣に依らす其么微にして視能はさる病毒は常に病婦の惡露中に存在し假令乾燥して數日を經るも尙は能く他に傳染すへき勢力を具ふるを以て病婦に親觸せし產婆醫師の手指及器械は例規に據り嚴密に消毒し淸淨するにあらされは他の產婦に病毒を傳移する恐あり

消毒方法

產婦若し產褥熱を發し惡臭甚しき惡露を漏さは產部の當て物は總て燒却し若くは强烈なる消毒劑中に投し而して襯衣敷布等は加里石鹼の溶液綠色若くは黑色石鹼十五グラム即ち四匁を取り温水十リーテル即ち五升に溶せる者若くは灰汁に浸し數時の後ち洗濯すへし然らざれは洗濯の際往々手指に惡性の焮衝を發する事あり產婆並看護人の手指洗滌法及器械消毒法は前章に於て既に詳說せしを以て玆に略す

醫師は注意して產婦の病毒を其親屬に移し若くは產

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婆に依て他の產婦に移すを防ぐへし而して衣服寢具藁蒲等を消毒するには鹽素薰蒸法若くは亞硫酸薰蒸法を行ふへし即ち中等大の室に於て薰蒸法を施すには豫め窓戶を閉ぢ被服等は成るへく衣桁に桂け消毒劑に觸接し易からしめ而してクロールカルク一キログラム即二百五十匁を磁器に入れ鹽素を發生せしめ若くは一キログラムの硫黃を燃燒して亞硫酸を發生せしめて薰蒸す五時間の後再ひ窓戶を開放し盛に空氣を通すへし

器械器具にして鑛製若くは硝子製の者は煮沸し便器等は厚濃石炭酸水即ち三倍の水を和せる者を以て洗淨し海綿掩布は之を燒却し汚液にはクロールカルクを撒布して之を掩ふへし

嬰兒は隔離すへし病婦をして乳養せしむへからす又病婦の看護をなす者は成るへく嬰兒に近接すへからす產婆は極めて淸淨に手指を消毒すへし然らされは嬰兒を浴せしむるにあたり臍帶に觸れ爲めに病毒を傳移し危險ある臍部の焮衝を發し次て敗血病を誘起するとあれはなり

產褥熱

產後は常に甚しく發汗する者にして假令少しく冷却するも之を防禦する能はず然も被褥又暖に過く可らす故に大小便を漏し產部を淸洗し襯衣敷布等を更め又哺乳せしむるに於ても豫め溫布を以て汗濕を拭ひ去るへし而して襯衣及敷布等も亦少しく暖めて用ゆるを善しとす亦色白並白色發疹は發熱せずして生するとあり畢竟發汗甚しきに因て生する者とす

產婦若し產後三四日にして惡寒を發し次て發熱發汗し熱性を呈し諸症稍增進するに及ひ乳房甚しく腫脹し乳汁乳頭より漏泄し而して頓に常に復せさるものは速に醫師を迎ふへし

又痙攣妄語を發せは假令體熱を生せさるも亦醫師を迎ふへし

衛生叢談

◉住地と死亡

獨逸索遜國千八百八十九年に都府と田舍との死亡數を万國衛生年鑑に照し見るに二十七府（人口八千以上）一般の死亡數は二四、八四田舍一般の死亡數は二二、七四乃至二三五、四五‰にして全國（都府及田舍）の死亡數は二六、九九‰にして又た千八百七十九年ダブリン府に於ける死亡數は千分三百五十七傳染病の死亡數は五乃至六なりしが次で貧民のために健康の家を立て不健康の家は之を閉ぢ家主を強いて貸家を清潔にし庭園を毎日掃除せしめ厠は改め造り塵み溜は器に入れて運び去ることに改めたるが此により死亡數追々減少せり千八百八十一年乃至八十五年には死亡二七、三二‰なりしが千八百八十六年乃至九十一年には二六、三‰となり出產數は二七‰なり傳染病の死亡數は四十四%を減ずるに至りしと云ふ

◉不眠試驗

睡眠は人世欠くべからさるものにして若し睡眠を欠くときは爲めに頭痛眩暈等を引き起し心氣鬱不快を起し果ては病を釀しいたく体量を減ずるに至るべし近頃西洋に於て健康ある大人は幾時間睡眠を欠くことを得べきやと云へる疑問に對し實驗をなしたるものありといふ即ち試驗するものは四人にして月曜日より不眠の試驗に取りかゝりたるが其內二人は四日目即ち木曜日に於て得絕へずやありけん中絕せり他の二人は六日間即ち日曜日に至るまで引き續きしが其一人は体量四基瓦他の一人は其三基瓦を失へりと云へり是を見ても不眠はいたゝ身體に害あるものと

云ふべし

◎両親の年齢と小兒の健康

ケレージー氏は第七回萬國衛生會に於て両親の年齢の小兒の健康に及ぼすことを論ぜり衛生年鑑ブタペストに於て小兒の死亡數は二萬九千八百十三人にして其死因を大別して二となせり一は子宮内の死亡にして既に母の體内に於て病毒を有するもの一は子宮外の死亡にして出生後に疾病を現はすものなり

氏の調査するところによれば虚弱なる小兒は若き婦人より生産し強壯なる小兒は三十歳乃至四十歳の父親より生ず其父若さに過ぎ或は老に過ぐるときは小兒は胎内の死因によりて死すること多し又其母其父より年長なるときは小兒の生命に影響を生ずることなしといへども之に反して父其母より甚だしく年長なるときは小兒の壽命に於て恐るべき結果を見ることあり小兒の生命に關しては母は二十歳乃至三十歳にして父は母より十歳位長ずるを以て最も良しとし母より少しく若きか或は二十歳長ずるは稍々可なりとす然れ共父高年にして母二十歳以下なるときは小兒の壽命を短縮するものありと因て氏は左の規則を編せり

一　女子二十歳未滿は嫁せざるをよしとす

二　老ひたる男子は若き婦人と配偶すべからず

三　三十歳以下及三十歳乃至三十五歳の女子は尤も生殖に適すといへども五十歳以上の男子又は幼年なる男子と配偶すべからず

四　三十五歳以上の女子か三十歳以上の男子と配偶するは小兒の壽命に影響することなし

五　男子は二十歳以下の少女と配偶すべからず又自己の年齢二十歳乃至二十五歳なるときは三十歳以上の婦人と配偶すべからず又男

子の年齢己に五十歳を超ゆれば其婦を撰ぶに當りては三十歳以上のものを求むべし

◉索遜國小兒の死亡及原因

索遜國に於て一歳未滿の小兒の死亡及其主なる原因に就て精密なる統計的調査をなせりと云ふ其成績左の如し

(一)乳兒の死亡數は甚だ大なり

(二)此の如き死亡數は主として其母の小乳を自から哺乳せざる習慣に基き又私生兒の數に關係す

(三)乳兒死亡數の減少を圖らんとするには主なる原因を知らざるべからず故に自然の營養を給し惡習を除かざるべからず

(四)貧困、亂酒、賣淫を防ぎ又住家を清潔にし其他一般に清潔法を要するを得は乳兒死亡數は從て減少すへし

(五)熱さ強き空氣は乳兒の死亡數を増加せしむ故に大都府に於ては暑氣の氣候を或は温潤し或は冷却せしむる方法を施さゝるべからず

(六)工業都府に於ては工夫等の住家を市外に設け且女工に就いては産前産後各六週間の休暇を與ふへし

(七)乳母の撰擇に就ては嚴格なる警察衛生的の撿査を行ふべし

◉印刷業と肺病

印刷業者に肺病の多きは一は植字工場の空氣の不良なると一は塵埃の發生多きによるものなり活字より生ずる金屬性の塵埃は呼吸器粘膜を傷け吸入したる結核菌の發育に適當の地をなすの恐れあるが故に植字室の床板は數々水を注ぎてよく掃除し活字箱を清潔ならしむるの方法を取らざるべからず故に殊に身

体薄弱の輩は植字工となるべからず印刷所床板の塵埃を撿するに百分の中十一、五丈け鉛分を含みしといふサレハ業を終りたる後には職工の指等に附着せる鉛分を洗ひ除くべし然らざれば自然鉛中毒を起すの恐れあればなり又植字をなすものは近眼となるもの多ければ不健康の者は印刷職工には不適當なりといふ

◉東京府の結婚と離婚

東京市十五區に於ける昨年十月中に於ける結婚及離婚の屆出數によれば結婚數は五百九十一人にして離婚數は百六十二あり離婚の割合に多きは驚くべきものなるが今其結婚者の年齡を比較するに廿歳以上三十歳未滿の男子にして十五歳以上二十歳未滿の女子と配偶したるもの百十四人又同年の男子にして二十歳以上三十歳以下の女子と婚したるもの百七十三人三十歳以上四十歳未滿の男子にして二十歳以上三十歳未滿の女子と婚したるもの百二十二人あり之れによれば東京市十五區民の結婚は男子二十歳以上四十歳未滿、女子十五歳以上三十歳未滿の間に行はるゝを知るに足るべし東京市民の不思議なるは四十歳以上五十歳以下の男女にして離婚する者の割合は甚だ多し即ち十二人の結婚者ありとすれば十七人の離婚者ある割合なり其他の離婚者の割合も亦年齡の增加と共に增加するものゝ如し早婚晩婚とも兩者共に其弊あるを知るべし

◉結婚媒妁の統計

日本橋區檜物町の渡邊結婚媒妁所にて昨廿六年中に取扱ひたる媒妁の統計は左の如くにして內結緣せる者五百六十名なりと云ふ

呉方

嫁　六百名
聟　三百六十九名

貰方

嫁　六百四十七名
聟　百十八名

小兒　百〇一名
總計千〇七十名
內
華族　二十名
士族　四百五十名
平民　六百名

小兒　六十五名
總計八百三十名
華族　七名
士族　三百七十一名
平民　四百五十二名

◉寒中轉地療養の適地

寒中の轉地療養地の適否に就て中央氣象臺員馬場信倫氏の語る處を聞くに冬季氣候の軟和なる所は我國の南海岸に沿ふ地方及內海に面する地方にして殊に温暖なるは鹿兒島、宮崎なり之に次ぐものは高知、濱松、沼津及び銚子にして熊本、大分、山口、廣島岡山、大坂、京都、名古屋、岐阜は晝間は可なり暖氣なりと雖ども夜分と朝は割合に冷却すること強き所なり要するに內陸は晝夜寒暖の差甚だしきが故に病者抔には甚だ不適當なり例へば熊本の如きは九州に在りて先づ我國の最南に位する土地なれども夜と朝は存外に温度下降す殊に高氣壓九州に懸り全國に於ける氣壓傾度甚だ緩弱なる時は天氣快晴となりて晝は十度以上に昇ることあるにも拘らず夜間は非常に冷却し氷點下に降ること往々なり時としては函館札幌より寒きことあり又山口、京都の如きは未明に於て氷點下に降ること通例なれども晝間は八九度に達すべし東京の如きも亦內陸の氣候を感ずる所なり一晝夜に温度の較差甚だ大なるは人體の健康上決して宜しき土地と云ふを得ず概言すれば山陰、北陸、東山及北海の諸道を除きたる他の地方は沿海なれば先づ氣候一般に軟和なりと云ふも不可なけん

八ヶ年以上の實測平均（攝氏温度）

早朝の尤も暖和なる所

西海道に於て……	鹿兒島	四、九
	宮崎	四、六
南海道……	和歌山	三、〇
	高知	二、八

山陽道	赤間關	四、八
畿内	大坂	一、八
東海道	銚子	三、三
	濱松	二、八
	沼津	二、三

晝間の尤も暖和なる所は

西海道	宮崎	一二、三
	鹿兒島	一一、七
	大分	一〇、一
南海道	高知	一〇、四
山陽道	廣島	八、四
畿内	大坂	八、二
東海道	銚子	一〇、二
	沼津	一〇、二

夜間の尤も暖和なる所

西海道に於て	鹿兒島	六、二
	宮崎	六、一
南海道	高知	五、二
山陽道	赤間關	五、五
畿内	大坂	三、六
東海道	銚子	五、五
	沼津	四、七
	濱松	四、二

左の如くなるを以て晝夜通して最暖の地は西海道中鹿兒島、宮崎南海道中の高知、山陽道中赤間關、畿内中の大坂、東海道の銚子、沼津、濱松なるべし

但し南海道中最も温暖なる地方は讃岐の多度津なり此地は最低温度と雖も氷點下に降りたることなき程の暖地なり左れど欠點と云ふべきは動ともすれば西方の風甚だ強く吹起ることあるの一事なり赤間關は山陽道中の暖地なれども天氣と風力の點に於ては廣島、岡山に劣ること數等なり畿内の暖地は神戸若くは和泉の海岸ならんなれども測候所なきを以て確論し難し東海道中の暖地なる銚子は風勝にして天氣も時々惡しきとあるを免かれず房總地方も亦同樣ならん因て沼津、濱松を最良とすべし豆相地方は氣象觀測の實測なきを以て確言し難しと雖も伊豆の東海岸相摸の三浦郡半島は同壓線、同溫線等に依て推測するときは風强からず温暖にして最上の氣候ならんと思はる以上は温度の配布上大要を述べたるものなれば巨細の點に於ては多少の遺漏なき能はず云々

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉トランプ及花合せの注意

新年の遊戯中骨牌類は重なる一の遊びなるが此に就て衛生上實に恐る可き一の大害こそあれ佛國ナンテの有名なるバクテリア專門家ドクトル、ラビンは近年骨牌のバクテリアを調査中なるが其ナンテ病院に於て肺病其他の患者の使用せる骨牌には一枚の札の一インチメートル四方にバクテリアの蟠りたる數六千百六十疋あり其中多半はボラト、バクテリアなり亦料理屋及び尋常家庭に使用せる骨牌を吟味したるに彼の膿疱の原因なるスタフイロマス、ボオセン、アウリユスを數多發見せり左れは骨牌遊びは衛生上實に危險なるものにて若し肺病ある者と與に骨牌戯を爲すことあらば或は骨牌と打死の覺悟なかる可からず加ふるに遊戯中骨牌を口に啣へまた札をきる時指頭を唾にうるほすなどは危險の尤も危險なるものなりと

◉坑中の瓦斯驅除法

米國イリノイ州に於て或人自宅の井戸を掃除せんと欲し受負人に命じて之を爲さしむ然るに受負人は久しく此の業に練れたる者なれば先づ井中の空氣の性質を知らんと欲し蠟燭に火を點じて徐々之を下せしに水面上六呎計りの所にて忽ち消へたりしかば水面上には有毒の瓦斯あることを知り蝙蝠傘を綱の一端に繋ぎ之を開きて倒まに井中に下し水面に達したる頃之を引き擧げ又傘を轉倒す此の如くすること數回見る者皆な之を笑ひ居たるが彼は少しも之を意とせず凡そ二三十回も繰返したる後再び點火したる蠟燭を下したるに火は充分に燃燒し水面に接するも消へざりしと云ふ蓋し彼の井中に在りたる有毒の瓦斯は炭酸瓦斯にして其性空氣より重きを以て傘にて全く除去せられたるなり我國にても古井戸浚の際には此の方法を試用するも可ならんか

◉寢小便の實驗藥

寢小便とて夜間睡眠中小便するものにして殊に小兒に多しといへとも稀には大人にも見ることあり容易に治癒することなく未だ其治法の完全なるを聞かざるが如し嘗て寢小便持ちの婦人偶まゝ良縁ありて目出度く婚姻の式を擧げしが一夜にして離婚するの不幸を見るに至りたりき近頃余の知友下婢を置けり今年十五歳身体强壯別に異狀なし然るに彼に寢小便の癖あり常に主婦に隱すといへども遂にあらわるゝに至りたり茲に於てか不愍の情を興し種々療用すれども癒せず偶々古老の談あり寢小便には鼠を黒ろ燒にして之を粉にして日々少しつゝ用うれば忽ち平癒すべしと至て容易きことなれば速やかに之を試みしに不思議なるかな恰んど一周日許りにして全癒するに至りたるが又鼬にても同樣の効能ありといふ茲に揭けて參考に供す

◉百歳以上の長壽者

其筋に於ける最近の調査に依れば全國にて百歳以上の長壽者は總數百四十名にして其男女の種別左の如し

百八歳	男一人	女一人
百七歳	男一人	
百六歳		女一人
百五歳		女六人
百四歳	男二人	女四人
百三歳	男三人	女九人
百二歳	男三人	女二十七人
百一歳	男六人	女十八人
百歳	男二十三人	女三十五人

◉百七歳の手習

大坂南區日本橋筋二丁目の松本良吉と云ふは今年百七歳の高齢なるも尚矍鑠なるをもつて人々其長壽

におやからばやと之に染筆を乞ふといへども老人何分無筆ものゆへ當惑し同町の出家に手本を乞ひ百七歳の手習怠りなしといふ

◉高砂の夫婦

静岡縣有渡郡八幡村の豪農北岡長左衛門と云へる人は今年九十二歳妻のお俊は八十一の春を迎へ子は男女九名孫は三十六人曾孫七人にて新年の祝ひには曾孫を七福神に見立て祝宴を開きたるよしなるが長左衛門は今更に思ひ出したる様にお俊に向ひ吾が和女と結婚せしは廿九のときでそなたは其時十八なりしが奇妙なことには今の年をさかさによめは結婚の年とならすやと云へはれ俊も之に感じつゝ

今はゝや色香も失せて八十を
　さかさに讀みし春ぞなつかし

と口ずさめば長左衛門も又

二十九が逆になるまで生き延て
　猶若やぎし午の初春

人生も斯くまで生るが眞の衛生の道を得たるものといふべきなり

◉百歳の老女

熊本縣八代郡濱口政吉と云へる人の曾祖母つねと云へる人は本年百歳となり悴政吉八十歳娘ゆき七十歳共に歌を作りて母を祝す

百の春年の寶を重ね上げ
　世に名を殘す母ぞ目出度き　悴　正吉　八十才

同じくは褒めて下され七十の
　小さい娘が日々の仕へも　娘　ゆき　七十才

◉齒科施療

芝區伊皿子町高山齒科醫學院にては院長歸朝以來規則等種々改良する處あり今般又施療券を發し貧民患者には施療すべしといふ

◉普通衛生法

此法は誰しも知るところあるか言ふ可く中々に此通り行ひかたきものなるが先づ毎旦早起し直に嗽口洗手すべし、寝醒の后尚臥蓐に在りて日出に及び、或は既に起出して久く、盥嗽を怠るときは頗る害あり

毎夜大概十時位を期して寝に就くべし、中夜を過ぎて外歩し若くは夜來談笑する等凡臥寝に一定の時なきは即ち健康を傷ふものなり

就寝の体容は枕を高くして仰臥し輕く身を右邊に側て少く両脚を曲るを良とす、若夫れ枕を低くして俯臥し高く両脚を上げ手を以て胸部に掩ふ等は最も害少からず、臥衾衣服の類は常に清潔ならしめ雨日及濕氣の天に非ざるよりは日に乾し風に晒すべし殊に臥衾は其輕軟なるを貴ぶ

皮膚頭髪の如きも亦常に清潔を要とす　毎朝手巾を冷水に濕し以て全身を摩拭し又頭髪を梳すべし

身体四肢を勞働せざるの人は日々必ず適度に身体を運動し、又何人を問はず行歩の際は脊梁を直くにすべし決して弓形の体容を作すべからず

食を為すには必ず其量と時刻とを限定し、三食と雖も妄に大食し若くは時期外に物を食ふべからず、苟も然らざれば胃腑忽ち一定の機能を失ひ其影響の及ぶ所遂に血液の供給を欠くの恐あり

飯は其軟かなるを貴び下物は其消化するに疾くして滋養分を需ふるの多きを善とす、然りと雖も飯量を減して多量の下物を食ふは良からず、殊に鳥獣魚介の一味のみを以て下物となすが如きは頗る害あり必ず適程に菜蔬を雜へ食ふべし

茶液、麥湯、珈琲湯等の飲物は食后適度に之を用ゆれば善く食物を送下し且つ消化を助くるの効ありと雖も其量多きに過ぐるときは却て害あり、殊に珈琲湯を用ゐること多量なれば大に害ありとす

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●男女の腦量

男子の頭は堅固にして女子は薄弱なりその形ち女子は小兒の頭に似よりて其容量は男子より稍々少きこと五十分一の差あり抑々人の智力と云ふものは頭腦の目方如何によるものにして近頃にては一定の說たるが如しカーペンター氏は曰く男子の發達したる最極の腦の重さは六十五オンスにして女子は五十六オンスなりサレハ其差ひは九オンスなるべし此說に依りて之を見れば女子の智力は遺憾ながら男子に及ばさるものと云ふを得べきかサレ共隨分泰西には婦人を以て內閣を組織するとか又は娘子軍を編製するとかの事實によりて見れば左程男子に劣るとも一概に言ひ難し狂歌にも女はと大切なものはあらしとて

女はどとうとき者はなかりけり
釋迦も孔子もやす〳〵と生む

眞に女は英雄豪傑を生むの元素男女相待つて其本分を盡すが第一にして少しも其優劣を見ざるなり

●口中の熱を去る法

口中に熱ありて不快のことあるときは生胡麻一匁を煎じこれを含み度々うがひするときは口中の熱は次第に去るものなりといふ

●鼻血を止める法

逆上にて鼻血の出でたるときは燒き明礬を綿撒糸の水に浸したるものに付け鼻の穴へほどよくつめ而して冷水又は氷水にて頭と足のうらを冷すべし

●米人佛國を去る二千四百人

目下佛國巴里を始め其他の都府郡村に至る迄インフルエンザ病大に流行し病症激烈死に至るもの尠なからざるを以て同國居留の米國人等は孰れも之れに怖れをなし去る十一月中旬までに歸國せしもの二千四百餘人に達したる由なり

●英國の流行感冒

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國倫敦に於ては舊臘來流行性感冒猖獗を逞しくし去月十三日前の一週間に於て該患者の死亡數百二十七人に達し又ウェールス宮妃及び下院議長も同症に罹れりと

●英國のインフルエンザ病

近來英國にてはインフルエンザ病の流行中々猖獗の由なるが先年本邦に大流行を來したるも其原因英國より輸入したるものなれば此際充分豫防法を講究し再び該病輸入の患ひなからしめんとて其筋にて專ら注意し居る由

●長崎のインフルエンザ

大に長崎に流行す甚しきは五人の家族にして三人まで此病に罹りたる家あり

●神戸のインフルエンザ

同病又々神戸港に流行せんとするの兆候ありと同港發の通信に見ゆ

●仙臺のインフルエンザ

仙臺廿七日午後二時四十六分發インフルエンザの流行熾なりと

●府下感冒の流行

目下府下に於て流行性感冒(インフルエンザ)非常に流行し居れり同性は肺炎其他恐るべき病症に變じ易ければ人々注意すべし

●全小兒の氣管支加答兒

昨今大に府下に流行し輕症感冒なりと打捨て置くときは多く肺炎に陷り危篤に迫るもの少なからずといふ

●赤痢病患者十七萬人

恰も昨年の今日頃は各府縣下赤痢大流行にて頗る慘狀を極めたるが此の流行に際し昨年一月より十二月卅一日まで一萬人以上の患者を出したるは大坂、兵庫、愛媛、大分、熊本の一府四縣下にして全國總患

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者の數は無慮十七萬人餘ありし

◉赤痢病視察員

各府縣赤痢病視察として九州地方へは柳下衛生局保健課長關西地方へは岡田技手各出張中なるか四五日内柳下氏は長崎より岡田氏は大坂より歸京すべしと

◉神奈川縣下天然痘の流行

同縣高座郡溝村に發生したる天然痘は昨今近村なる大野村に傳播し目下同村の新舊患者二十三名に及びたるより同縣警部長は右に關する訓令を部下の各警察署長に發したりと

◉天然痘患者數

昨今府下に於て天然痘流行の兆あるが其筋に於ける調査によれば本年一月一日より廿四日に至る同患者の數は神田區五人、日本橋區六人、芝區一人、下谷區二人、淺草區二人、本所區十八人、深川區十七人、南多摩郡二人、京橋區一人尙此頃增加せりと

◉入港船の撿疫

神奈川縣にては天然痘流行の兆候あるに付流行地なる長崎より横濱に入港する諸船舶に對しては水上分署に於て船中の撿疫を爲す事に爲せりと

◉天然痘流行の兆あり

麴町區役所に於ては目下本所區等に於て天然痘流行の兆あるに付去月十日公民會衛生部にては協議會を開き此際種痘を怠らず初種は勿論再三種と雖も適宜の醫師に就て速かに種痘すべき旨區内一般へ告示したり

◉府廳の通達

舊臘本所區林町三丁目に於て天然痘患者を發生し爾後續て十有餘名の患者を生じ尙追々蔓延の兆あるを以て萬一種痘を怠り病毒の傳播せしむる樣にては非常の虞ありとて此際初種、再三種とも速かに種痘す

べき樣府廳より此程各郡區役所へ通達したりといふ

◉露國のコレラ病統計

露西亞に於けるコレラ病は昨今稍其猖獗を減じたるが其筋の統計に依れば一昨千八百九十二年五月より九月まで全帝國の患者は總計四十三萬三千六百四十三人内死亡者二十一萬五千百五十七人にして昨千八百九十三年一月より十一月までの患者は七十萬六千百六十七人内死亡者は三十萬二百八十四人なりと昨年十一月廿二日附露都聖彼斯堡府よりの報に見えたり

◉不正の痘漿

昨年は各地とも天然痘の流行甚しく牛痘欠乏を告くる有樣にして牛痘接種所は孰れも多分の利益ありしより奸商は無暗に不良の痘漿を製造して販賣を謀りしが是等の痘漿を顯微鏡に掛くる時は種々の混合物ありて容易ならざる毒素を含有し居るものある由本年もぼつ〱天然痘發生の兆あるより醫師は深く此邊に注意し居るとか

◉產婆の數

三四年前より產婆の數頗に加はり府下の現員一時は六百余に及びたるも大學其他學校出身のもの其技術の點に於ては十分なるも何れも年齡若くして世の信用少なきが爲めか到底一已獨立の營業出來ざる爲め自然廢業して現時は府下十五區にて僅に三百余名に減じたりと

◉大日本婦人衛生會

去る一月十三日第二土曜日午後一時より京橋區宗十郎町七番地大日本私立衛生會々議室に於て本年の第一會を開きたり新年の事とて會するもの五十餘名理學博士長井長義氏は衛生は清潔にありと云へる主意にて衣服及臺所の清潔より水の良否洗濯等に就き實驗に照らして演說せられ右終りて茶菓の饗應及福

引等の餘興ありていと賑やかにて四時半頭散會せり
御慰みの爲め當日の福引を擧ぐれば左の如し

○今日は皆さんヨウこそ　おこし　御越し
○長井先生の御演説　本に甘き物　ホンニウマイ
○乙姫のハンケチ　海苔
○四十七士の一人　赤柿　赤垣源藏
○婦人の歩み方　團扇二本　内輪に歩む
○仁義禮智信　火鉢用五徳　五徳
○ぴつこの競爭　ハンガケ　半ば走る
○時鳥　仝　頂邊へかける
○老人の頭　刷毛　禿け顔
オタマヂヤクシ
○書生の貯金　梨　ヤハリなし
○新らしい内から古しと云ふ　灰ふるい
○古池や蛙とび込む水の音　どんぶり鉢
○一片は風に吹かれて　チリレンケ　散り蓮花
○スワルトバアートル　徳利のハカマ　袴

○束髮　卷紙　卷き髮
○暑め厭はす二人りて共かせぎ　火箸　二本で火を挾む
○名馬一匹　墨一挺　梶原の馬スルスミ
○令孃馬車にも召さす車にも　白粉　御歩行
○相場師　石鹸　濡手であわ
○心懸のよき妻君　剪　貯金々々
○茶の湯座敷　半紙四帖と半分、　四疊半
○倒にありて働き横になりて休み頭を上にして考ふるもの　何にか　筆
○忍廻りの巡査　短冊　探索
○土佐日記　白粉　面雪(貫之)
○獨り娘の配偶者　洋紙　養子
○記臆の豫備庫　何？　手帳
○筑紫の御宿　何？　筆入
○學校の小使　歯磨楊子　校中を掃除する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○夏の日冬の夜　糸ナガシ　いと長し
○金持になる秘法　石鹼　節儉
○岡山市の災害　香水　洪水
○在原業平の弟、　行平鍋　在原行平
○嬉しき音信　豆　壯健
○膝栗毛を讀むと　本に御菓子　ホンにおかしい
○我身を棄て他の身を救ふ　何に？　貝じやくし
○江戸の花　菓子　火事
○近江八景二　落雁　最中　堅田の落雁　石山寺の月
○法庭　シラス（魚）　白洲
○喇叭　吸つたり吹いたり　卷烟草
○僧侶の住ひ　栗　厨

此他尚品々枚擧すべからず只其大概のみ

◉元幹事村岡久野子より遠路福引物を送らる因りて編者は首をひねりてムチクヤ〳〵を御笑ひ草迄に

◉綿オンジヤク

衛生にかなひしわたのこしあては
すばくせんきもいへんとぞ思ふ

◉大黒と夷子

大黒はゑひすと共にはねてみて
君が家こそさかへけるかな

◉京菓子八ッ橋

八ッ橋といへど橋にはあらなくに
モ一ッたして九橋なりけり

◉ケヤキノ下駄

足つよき人は此下駄はきなまし
いつまではくもへりがたゝねば

◉鹿三ッ

四ッあれば四かとは云へど三ッあれば
三かと云ふより外ぞなかりき

◉箱入の根ガケ

此ねがけかけたる人のふりのよさ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

からの西施もはだしなるらん
是よりは發句のはじまり

◉鈴入の羽子坂
つくたびにすゞの音ゆかし羽子の板

◉羽子(長二三寸)
つくばねの毛やりに似たる長さかな

◉オモチヤの小田原提燈(但し男子に限る)
年よりの小田原もたぬいせいかな

◉住吉おどり
住吉の祭りにぎはし大景氣

廣告

◉通常會員粟屋武子の紹介により
麹町區永田町二丁目卅一番地
通常會員　秀嶋つね子

神奈川縣橫須賀稻岡町廿八番地
通常會員　秋庭てる子

◉副會長濱尾作子の紹介により
麹町區富士見町五丁目十番地
通常會員　三井晴子

◉地方會員植村妙子の紹介により
大坂市南區鰻谷中ノ町三十一番屋敷
通常會員　安田楠惠子
大坂市東區本町一丁目四十番屋敷
通常會員　大澤ゆき子

◉通常會員日下しづ子の紹介により
第二醫院
安田うめ子

◉評議員中村はる子の紹介により
小石川林町四十四番地　通常會員　濱きん子
巢鴨駕籠町四十六番地　通常會員　深井みよ子
牛込新小川町二丁目七番地
通常會員　高山さき子

◉通常會員林つる子の紹介により

日本橋區數寄屋町一番地
通常會員　安井小絲子
◎通常會員立石靜子の紹介により
第一醫院
佐藤とめ子
◎會長土方龜子の紹介により
牛込仲町三十五番地　通常會員　仁尾繁子
◎通常會員前川てる子の紹介により
本鄉第一醫院
石井ますゝ子
◎幹事西靜子の紹介により
北豐嶋郡王子村　通常會員　鹿島いね子
牛込佐土原町二丁目一番地同　伊東富子

轉居

淺草區田町一丁目十九番地へ　松本梅子
栃木縣河內郡瑞穗村大字上桑島へ　鮎淵ふさ子
赤坂丹後町四十三番地池田殿方へ　小林すか子
麴町元園町一丁目四番地へ　岡野幾子
麻布箪笥町百四十八番地へ　岩橋とき子
千葉縣千葉町千十四番地へ　河村孝子
赤坂一ッ木町八十番地へ　小塲こゆり子
茨城縣水戶市上市並松町一番地へ　秀嶋千代子
神奈川縣橫須賀汐留五十四號官舍へ　武富すみ子
千葉縣下へ　渡邊たつ子
麻布永坂町一番地へ　八代操子
神田猿樂町十四番地丸毛殿方へ　村垣なほ子
日本橋濱町二丁目十一番地へ　三穗のぶ子
大津桝屋町四十番屋敷へ　椿隆子
本鄉田町十四番地內山殿方へ　塩崎せい子
芝公園十八號小嶋內へ　佐々木梅子

退會

吉川みつ子　德尾すへ子　高木とよ子
河村すみ子　福嶋りやう子　朝見百子

死亡

藤江はる子

大日本婦人衛生會

◉婦人衛生會へ寄送せられたる新年の賀詞左の如し

謹みて新年を賀し奉る

明治廿七年一月一日

北海道札幌幼稚園
西川かめ子

謹賀新年

明治廿七年一月一日

愛媛縣松山市出淵町
俊野れわ子

新年の御壽めて度巾納候

明治廿七年一月一日

大坂
岡田みを子

謹而奉賀新年

明治廿七年一月一日

千葉縣長狹郡東條宿
永井益夫
同くに子

謹賀新年

明治廿七年一月一日

岐阜縣本巣郡長嶺
村瀬清直

謹賀新年

筑前鞍手郡勝野炭坑
安達芳子

明治二十一年二月二十八日内務省許可

新玉の年をことほぎ侍る

大津桝屋町四十番屋敷

明治廿七年一月二日

椿　隆子

淑女諸氏益々御多祥目出度奉賀頌候御會次第に盛運に向ひ欣抃此事に御座候

石川縣與力町

明治廿七年一月二日

中村順次

新玉の御壽き何國も同じ御事に祝ひ納め候

栃木縣河内郡水穗村大字上桑島

明治廿七年一月三日

鱒淵ふさ子

新年の御壽幾久しく申納候併て本會れ盛大を祈

神奈川三浦郡浦賀町

明治廿七年一月五日

細川靜子

謹奉賀新年候

麻布笄町百四十八番地

明治廿七年一月五日

岩橋とき子

明治廿七年一月三十日印刷
明治廿七年二月二日發行

發行所　東京下谷區練塀町四十三番地　大日本私立婦人衞生會
編輯兼發行者　東京牛込區矢來町三番地　田中徳三郎
印刷者　神田區小柳町十三番地　小高良造
印刷所　神田旅籠町貳丁目拾一番地　廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可第一金曜日發行

（定價金十錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN